

こぱんはうすさくら 児童発達支援 ガイドラインアンケート実施結果を公表します

こぱんはうすさくらでは、より良いサービスを提供するため、「児童発達支援ガイドライン」をもとに保護者様のご意見やお子様の成長状況を把握し、教室での今後の取り組みを明確にしていくことで、支援の質の向上とお子様の成長につなげてまいります。

◆ 川崎大島教室 ◆

★保護者様からのご意見

項目	いただきましたご意見
環境・体制整備	習字をする機会があり助かっている。子どもが先生を信頼している様子も伝わっている。
適切な支援の提供	確実に成長が感じられる。いつの間にか言えるようになった言葉や、出来るようになったことが増えてきた。
保護者様への説明等	コロナが終息したら、保護者が集まれるイベントなどがあれば良いと思う。
非常時等の対応	あまり把握できていない部分もあるため、詳しく知る機会やものがあると嬉しい。
満足度	「明日はこぱんの日だよ」と言ういつもよりお利口さんになる。他施設に比べ、本人はこぱんが一番楽しそう。

★教室での自己評価

項目	改善策及び取り組み状況
環境・体制整備	ハード面では教室内のバリアフリー化を心がけ、角等危険になる箇所を無くすよう整備している。
業務改善	仕事量に偏りが出ないように、分担を心がけ、進捗状況や完了までお互いに確認できるよう取り組んでいる。
適切な支援の提供	職員と児童の関係性や、個々の能力に依存してしまわないよう、作業ボードを用いて様々な職員が様々な児童と関わることができるよう努めている。
関係機関や保護者との連携	必要に応じて幼稚園、保育園や療育センター等と連絡を取り合い、積極的に情報共有を行うようにしている。
保護者様への説明責任等	万が一利用児童に怪我等が発生した場合は、管理者へ状況報告をするとともに、保護者に迅速に伝えることができるよう仕組みを整えている。
非常時等の対応	毎月の避難訓練は確実に実施しているが、避難時の保護者への情報伝達手段について、より良い方法を検討していく。